

平成20年度

長期研修者研究抄録



鹿児島県総合教育センター

平成20年度 長期研修者一覧

番号	教科 領域等	氏名 (勤務校)	研究主題
1	総合的な 学習の時間	定光康夫 (鹿児島市立 松原小学校)	生き生きとコミュニケーションを楽しむ児童を育成する小学校英語活動の在り方 －教材・教具の効果的な活用と相互作用を重視した授業設計を通して－
2	国語	上野大輔 (指宿市立 川尻小学校)	論理的に思考し表現する能力を高める国語科学習指導の在り方 －テキストに基づいて自分の考えを書く力を高める指導を通して－
3	算数	遠矢美緒 (南さつま市立 田布施小学校)	算数を進んで生活や学習に活用する子どもの育成 －知識や技能を活用する力を身に付けさせる学習指導を通して－
4	国語	松本浩輔 (日置市立 飯牟礼小学校)	自分の考えを形成し学び合う国語科学習指導の在り方 －「読む力」を活用する学習活動を通して－
5	教育相談	美坂剛至 (西之表市立 榕城小学校)	子どもたちのコミュニケーション能力を高める指導法の研究 －ソーシャルスキルトレーニングプログラムの工夫を通して－
6	社会	長野素子 (南さつま市立 笠沙中学校)	多面的・多角的な見方や考え方ができる生徒の育成 －地理的分野における諸資料を活用した学習指導の工夫を通して－
7	理科	満尾謙治郎 (日置市立 吹上中学校)	主体的に考察できる生徒を育成する理科学習指導 －第1分野「電流」における「実験の企画」や「実験結果の解釈」の工夫を通して－
8	数学	山崎晃 (伊佐市立 大口中学校)	基礎・基本の確実な定着を図る数学科学習指導 －系統を踏まえ、学習してきたことを関連付けさせる指導の工夫を通して－
9	商業	竹下貴士 (鹿児島県立 鹿児島南高等学校)	「ビジネス基礎」におけるマーケティング能力の育成の在り方に関する研究
10	公民	福田真望 (鹿児島県立 穎娃高等学校)	社会的事象を主体的に考察できる生徒の育成 －身近な事柄と関連させ、自己の考えを深め表現させる学習指導の工夫を通して－
11	特別支援 教育	末吉加奈 (鹿児島県立 鹿屋養護学校)	重複障害児の定位反応・注視、探索行動を促す学習環境の在り方 －教師間で評価を共有する取組を通して－

番号	教科領域等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
1	総合的な学習の時間	定光康夫	鹿児島市立松原小学校	<p>生き生きとコミュニケーションを楽しむ児童を育成する小学校英語活動の在り方</p> <p>－教材・教具の効果的な活用と相互作用を重視した授業設計を通して－</p>	<p>本研究は、生き生きとコミュニケーションを楽しむ児童を育成する小学校英語活動の在り方を追究したものである。</p> <p>具体的には、児童・教師への意識調査を基に、教材・教具の効果的な活用や英語やジェスチャーを交えたやり取りを通して意思疎通を図る相互作用を重視した授業設計という視点から授業を通して検証した。</p> <p>その結果、上記の視点からの指導が児童の英語活動への意欲を高めさせ、生き生きとコミュニケーションを楽しむ児童を育成する上で効果的であることが明らかになった。</p>
2	国語	上野大輔	指宿市立川尻小学校	<p>論理的に思考し表現する能力を高める国語科学習指導の在り方</p> <p>－テキストに基づいて自分の考えを書く力を高める指導を通して－</p>	<p>本研究は、テキストに基づいて自分の考えを書く活動を通して、論理的に思考し表現する能力を高める国語科学習指導の在り方について研究したものである。</p> <p>特に、単元の学習指導過程を見直し、「深める」過程において、読みとったことと表現することをつなげる学習内容を設定し、自分の考えを筋道を立てて明確にもったり、表現に生かしたりすることを授業を通して検証した。</p> <p>テキストに基づいて身に付けた力を生かして、事実と考えや意見を区別して、論理的に自分の考えを文章に書く姿が見られ、指導の有効性が分かった。</p>
3	算数	遠矢美緒	南さつま市立田布施小学校	<p>算数を進んで生活や学習に活用する子どもの育成</p> <p>－知識や技能を活用する力を身に付けさせる学習指導を通して－</p>	<p>本研究は、算数を進んで生活や学習に活用する子どもを育成するために、算数科の授業において知識や技能を活用する力を身に付けさせる学習指導を研究したものである。</p> <p>具体的には、理論研究や実態調査を踏まえ、「知識や技能を活用する力を育てる授業モデル」を作成した。それを基に、既習の内容を活用させるための工夫や様々な表現様式を用いて考えを深め交流させる場の工夫、生活や学習とのつながりをもたせるための活動の設定とその工夫を行った。</p> <p>その結果、「生活や学習の中で、数量や図形の問題を解決するために、既習の知識や技能を用いて、効果的に考察・処理・表現することができる」子どもの姿に近づけることができた。</p>
4	国語	松本浩輔	日置市立飯牟礼小学校	<p>自分の考えを形成し学び合う国語科学習指導の在り方</p> <p>－「読む力」を活用する学習活動を通して－</p>	<p>本研究は、「読む力」を活用する学習活動を通して、自分の考えを形成し学び合う国語科学習指導の在り方を追究したものである。</p> <p>具体的には、教材文の叙述を根拠に、自分の考えと他者の考えを比較・対照する読みの交流の中で、考えを広げたり深めたりしていくこと。さらに、言語活動を通して、読みの深まりを表現して確かめ、自分の考えを再構築し、よりよい考えを形成していくための手だてについて考察し、授業を通して検証した。</p> <p>その結果、読みの交流の中で、子どもたちは、学び合うことの意義を感じ取るとともに、自分の読みの深まりを表現することで、よりよい考えを形成することができるようになり、「読む力」を活用する学習活動の有効性を明らかにすることができた。</p>

番号	教科領域等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
5	教育相談	美坂剛至	西之表市立榕城小学校	<p>子どもたちのコミュニケーション能力を高める指導法の研究</p> <p>ーソーシャルスキルトレーニングプログラムの工夫を通してー</p>	<p>本研究は、ソーシャルスキルトレーニングプログラムの工夫を通して、子どもたちのコミュニケーション能力を高める指導法について追究したものである。</p> <p>具体的には、子どもたちのコミュニケーションに関する課題を、発達段階と実態からとらえ、それらに応じて、学習目標や学習活動、学習形態などを工夫したSSTプログラムを作成し、その有効性について、授業を通して検証を行った。</p> <p>その結果、子どもたちの「自分の考えを進んで話そうとする意識」や「友達の気持ちを考えながら話を聴こうとする意識」などを高め、コミュニケーションのスキルを身に付けさせることにつながった。</p>
6	社会	長野素子	南さつま市立笠沙中学校	<p>多面的・多角的な見方や考え方ができる生徒の育成</p> <p>ー地理的分野における諸資料を活用した学習指導の工夫を通してー</p>	<p>本研究は、地理的分野において、諸資料の活用を通して、「多面的・多角的な見方や考え方」ができる生徒を育成するための指導の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、諸資料を活用する力を育成するための手だてを探りながら、社会的事象を様々な視点からとらえさせる学習指導を工夫することで、「多面的・多角的な見方や考え方」が育成できるのではないかと考え、授業を通して検証した。</p> <p>その結果、これらの二つの視点からの指導が、「多面的・多角的な見方や考え方」ができる生徒を育成する上で有効であることが明らかになった。</p>
7	理科	満尾謙治郎	日置市立吹上中学校	<p>主体的に考察できる生徒を育成する理科学習指導</p> <p>ー第1分野「電流」における「実験の企画」や「実験結果の解釈」の工夫を通してー</p>	<p>本研究は、生徒が主体的に考察できるようにするために、第1分野「電流」において、「実験の企画」や「実験結果の解釈」の場面における指導の手だてを工夫したものである。</p> <p>特に、電圧と電流の関係の学習では、電圧と電流の区別があいまいであることを自覚させることで課題を焦点化し、グラフをかくことで比例関係にあることを確かめればよいという見通しをもたせた。また、磁界同士の働き合いの学習では、4種類あるように見える実験結果を一つの言い方で説明するように発問したり、モデルを使用させたりして解釈をさせた。</p> <p>その結果、生徒は自ら観察、実験結果を比較したり関係付けたりしながら、きまりや結論をより主体的に導き出すことができるようになった。</p>
8	数学	山崎晃	伊佐市立大口中学校	<p>基礎・基本の確実な定着を図る数学科学習指導</p> <p>ー系統を踏まえ、学習してきたことを関連付けさせる指導の工夫を通してー</p>	<p>本研究は、数学科の基礎・基本の確実な定着を図るため、指導内容の系統を踏まえ、学習してきたことを関連付けさせる指導の手だてを工夫したものである。</p> <p>具体的には、教師が「数量関係」領域の各学年間の系統や、「数量関係」領域と関連する他の領域との学習課題の関連を明確にした。そして、学習内容の関連を生徒が体系的に把握できるワークシートを作成し、学習してきたことを関連付けさせる場を明確にした指導の在り方を、授業を通して検証した。</p> <p>その結果、学習してきたことを生かし関連付けて考え、問題解決を図る生徒の姿が見られるようになった。</p>

番号	教科領域等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
9	商業	竹下貴士	鹿児島県立鹿児島南高等学校	「ビジネス基礎」におけるマーケティング能力の育成の在り方に関する研究	<p>本研究は、商業科目である「ビジネス基礎」におけるマーケティング能力の育成の在り方について研究を進めたものである。</p> <p>具体的には、マーケティング能力を育成していくために、「ビジネス基礎」を中心に他の商業科目と関連をもたせた指導計画を作成し、R-PDCAサイクルを取り入れた学習指導やマーケティング活動の実践など、指導内容や学習指導の工夫を図ったものである。</p> <p>その結果、教科の目標とする「ビジネスの実践力」と「スペシャリストを目指して学び続ける意欲」を高めることができた。</p>
10	公民	福田真望	鹿児島県立穎娃高等学校	<p>社会的事象を主体的に考察できる生徒の育成</p> <p>－身近な事柄と関連させ、自己の考えを深め表現させる学習指導の工夫を通して－</p>	<p>本研究は、社会的事象を主体的に考察できる生徒を育成するために、生徒の社会的事象についての見方や考え方を深めることが重要と考え、指導内容を身近な事柄と関連させ、自己の考えを深め表現させる学習指導の工夫を図ったものである。</p> <p>具体的には、新聞や読み物等の資料の活用や、シミュレーションの手法を用いた学習指導を実践した。また、論述させる際に、考察の視点や書き方の例を示した。</p> <p>その結果、生徒は社会的事象についての見方や考え方を深めることができ、社会的事象を主体的に考察する姿が見られるようになった。</p>
11	特別支援教育	末吉加奈	鹿児島県立鹿屋養護学校	<p>重複障害児の定位反応・注視、探索行動を促す学習環境の在り方</p> <p>－教師間で評価を共有する取組を通して－</p>	<p>本研究は、重複障害児が外界の刺激を受容し、能動的にかかわることができる学習環境の在り方を追究し、一貫性のある指導実践のため教師間で評価を共有する取組を行ったものである。</p> <p>具体的には、ポジショニング及び学習環境の実態把握表を作成し、対象児の実態を把握した。得られた情報を基に授業を行い、ビデオ分析による授業改善を行った。さらに、実態把握表の活用とビデオ視聴を取り入れた話し合いにより教師間の評価の共有を行い、事例研究を通してこれらの効果について検証した。</p> <p>その結果、実態把握表の有効性と教師間の評価を共有する効果について明らかにすることができた。</p>